

応用化学専攻 助教講演会



応用化学科の皆さん

学生実験にいる助教の先生、普段何しているんでしょうか？

そんな疑問に答える講演会を応用化学科では毎年開催しています。

研究室に在籍する人は、他研究室の助教の先生たちの研究を知るいいチャンスです。ふるってご参加ください。

日時: 2016/7/13 (水), 14:30-16:00

場所: 5336号室

問い合わせ: 応用化学科主任 片山 (kkata@kc.chuo-u.ac.jp)

第1演者



大石研 助教
岡 研吾 先生

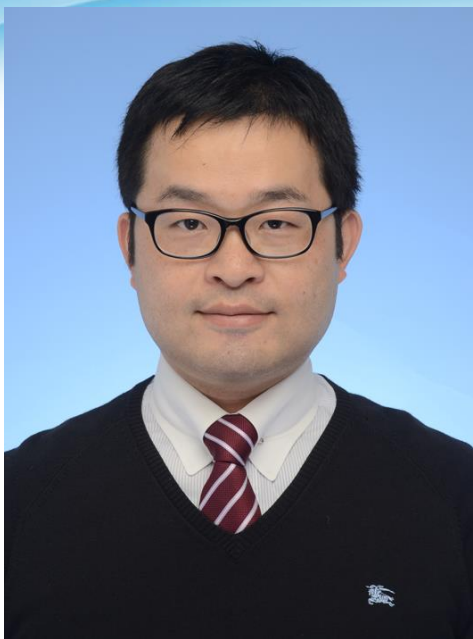
Title :

新規酸フッ化物におけるアニオン秩序構造の解明

Content :

金属イオンと酸素イオンからなる金属酸化物は、高い化学的安定性と豊富な機能を示し、幅広い分野で応用されてきた。従来の研究においては、金属イオン(カチオン)が結晶構造や物性を決定する主役であり、対する酸素イオン(アニオン)はあくまで電荷の補償など脇役とでも呼ぶべき立場であった。しかし、最近、アニオンサイトを酸素とそれ以外のアニオンで複合化し、新たな構造や物性を得るアプローチが注目を集めている。本発表では、新たに合成に成功した酸フッ化物(アニオンサイトを酸素とフッ素で複合化した化合物)についての研究を紹介する。

第2演者



張研 助教
松本 剛 先生

Title :

非貴金属錯体が駆動する化学エネルギー貯蔵・変換
システムの構築

Content :

近年、化学エネルギー変換に関して活発に研究されており、特に安価で埋蔵量豊富な非貴金属材料を用いたエネルギー材料が注目を集めている。本研究では、電子・プロトン移動活性を有する芳香族アミン類を配位子に持つ非貴金属(アルカリ・アルカリ土類金属及び鉄)錯体の性質およびそれらの光化学反応に関して発表する。また、新規な非貴金属クラスター触媒材料創出を目的とした、モリブデン硫化物クラスターとルイス酸との反応による新規アルキル修飾クラスターの合成に関する併せて発表する。